



EDOGAWA CITY

6/20

令和元年(2019年)

No.1916

毎月1日・10日・20日発行

えどがわ

江戸川区スポーツチャレンジデー 2019 **江戸川区がアラカジュ市に勝利!**

	江戸川区	ブラジル・アラカジュ市
人口	69万8031人	57万1149人
参加人数	32万6574人	14万5683人
参加率	46.78%	25.51%
参加回数	3回目	2回目

5月29日に開催された江戸川区スポーツチャレンジデーは、江戸川区の参加率が対戦相手ブラジル・アラカジュ市を21.27ポイント上回り、江戸川区が勝利しました。これからも健康づくりに励みましょう!
問 スポーツ係 ☎5662-1636

※人口は平成31年1月1日現在。

葛西の浜が 世界の海とつながっているんだもんなあ



葛西海浜公園 西なぎさでの クリーン作戦

小島が点在して浮かぶ ミクロネシアの海

写真提供(右) 駐日パラオ共和国大使館

この4月、環境問題などに積極的に取り組む団体を視察する目的で、海外からの視察団がえどがわエコセンターを訪れました。「日本一のエコタウン」を目指す江戸川区でのごみ減量や温暖化対策につながる省エネの取り組みは、彼らの目にどのように映ったのでしょうか。地域のため、さらには地球のためになる身近な取り組みの意義を改めて考えてみませんか。

問 えどがわエコセンター ☎5659-1651

ミクロネシアの島々から えどがわエコセンターへ

視察に訪れたのは、いずれも太平洋のミクロネシア地域に浮かぶ島国であるパラオ、マーシャル諸島、ミクロネシア連邦の3カ国の政府職員などの方々。同3カ国ではプラスチックごみが深刻な社会問題になっており、日本の先進事例から、自国の解決策に生かせるヒントを探る趣旨で訪問されました。

えどがわエコセンターにおける、葛西海浜公園での漂着ごみのクリーン作戦や、レジ袋削減のためのマイバッグキャンペーン、また、近年、懸念が高まっているプラスチックごみの海洋汚

染に関する啓発活動などが紹介され、意見交換が行われました。

温暖化の影響 太平洋にも江戸川区にも

「マーシャル諸島は島国で、山も丘もなく、温暖化による海面上昇を危惧しています」

これは視察団の一員であるマーシャル諸島内務省ミラン氏の発言です。ミクロネシアは、ごみ問題に悩まされているとともに、海面上昇で国土が水没する危機にさらされている地域でもあり、そこに暮らす人々の、温暖化対策への切実な関心が伺えます。

しかし、温暖化が引き起こす異常気



江戸川区での取り組みの紹介を受けるミクロネシア視察団の皆さん

象は、高潮や洪水の形で江戸川区にも被害をもたらす恐れがあります。ミクロネシア諸国は東京とは3000km以上も離れた遠方の島国ですが、葛西の浜から太平洋を挟む隣人として私たちのまちと問題を共有しているのです。

そう思うと、いつものエコの取り組みが、ぐっと意義深くなるような気がしてきませんか。

えどがわエコセンターの環境への取り組みは4・5面の特集で詳しく紹介しているヨ!

